

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	円ヘッジコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	円ヘッジコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）では、為替取引を活用して、選定通貨（※）で実質的な運用を行いません。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の通貨運用助言会社の助言に基づき決定した複数の通貨をいいます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）
通貨セレクトコース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第66期（決算日 2018年1月15日）
第67期（決算日 2018年2月13日）
第68期（決算日 2018年3月13日）
第69期（決算日 2018年4月13日）
第70期（決算日 2018年5月14日）
第71期（決算日 2018年6月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ先進国リートα円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型）」は、このたび、第71期の決算を行ないました。

ここに、第66期～第71期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>
<5736>

円ヘッジコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
42期末(2016年1月13日)	7,714	80	0.2	15,057	△ 0.0	0.0	98.6	1,157
43期末(2016年2月15日)	7,417	80	△2.8	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	1,122
44期末(2016年3月14日)	7,811	80	6.4	15,893	10.8	0.0	98.3	1,147
45期末(2016年4月13日)	7,868	80	1.8	16,434	3.4	0.0	98.9	1,098
46期末(2016年5月13日)	7,860	80	0.9	16,715	1.7	0.0	98.1	1,087
47期末(2016年6月13日)	7,806	80	0.3	16,683	△ 0.2	0.0	98.9	1,053
48期末(2016年7月13日)	7,890	80	2.1	17,579	5.4	0.0	98.7	996
49期末(2016年8月15日)	7,822	80	0.2	17,653	0.4	0.0	99.5	961
50期末(2016年9月13日)	7,556	80	△2.4	17,080	△ 3.3	0.0	99.0	899
51期末(2016年10月13日)	7,290	80	△2.5	16,434	△ 3.8	0.0	99.0	851
52期末(2016年11月14日)	6,828	80	△5.2	15,667	△ 4.7	0.0	98.3	800
53期末(2016年12月13日)	7,055	80	4.5	16,519	5.4	0.0	98.3	808
54期末(2017年1月13日)	7,037	80	0.9	16,743	1.4	0.0	98.3	837
55期末(2017年2月13日)	7,009	80	0.7	16,895	0.9	0.0	98.4	806
56期末(2017年3月13日)	6,827	80	△1.5	16,375	△ 3.1	0.0	98.4	779
57期末(2017年4月13日)	6,968	80	3.2	17,245	5.3	0.0	98.9	796
58期末(2017年5月15日)	6,789	80	△1.4	16,832	△ 2.4	0.0	98.3	777
59期末(2017年6月13日)	6,811	80	1.5	17,264	2.6	0.0	98.5	816
60期末(2017年7月13日)	6,580	80	△2.2	16,820	△ 2.6	-	98.3	754
61期末(2017年8月14日)	6,548	80	0.7	16,931	0.7	0.0	98.4	716
62期末(2017年9月13日)	6,582	80	1.7	17,345	2.4	-	98.4	694
63期末(2017年10月13日)	6,495	80	△0.1	17,423	0.4	-	98.2	661
64期末(2017年11月13日)	6,461	80	0.7	17,559	0.8	-	98.4	644
65期末(2017年12月13日)	6,393	80	0.2	17,710	0.9	-	98.9	615
66期末(2018年1月15日)	6,128	80	△2.9	17,071	△ 3.6	-	98.4	592
67期末(2018年2月13日)	5,770	80	△4.5	16,178	△ 5.2	-	98.3	561
68期末(2018年3月13日)	5,794	80	1.8	16,562	2.4	-	98.5	465
69期末(2018年4月13日)	5,693	80	△0.4	16,509	△ 0.3	-	98.2	455
70期末(2018年5月14日)	5,781	80	3.0	17,388	5.3	-	98.3	454
71期末(2018年6月13日)	5,731	80	0.5	17,739	2.0	-	98.2	460

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

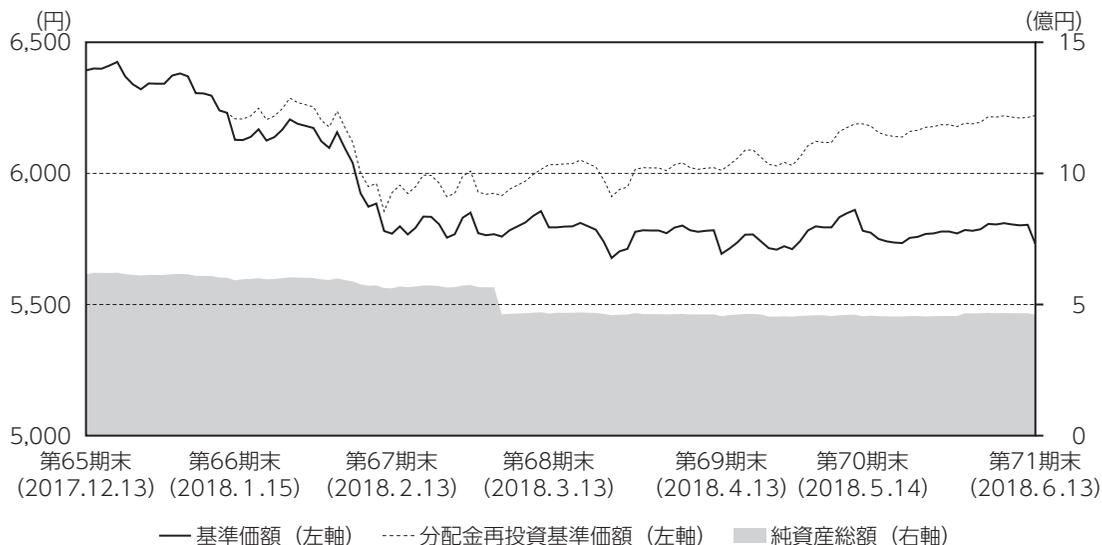
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第66期首：6,393円

第71期末：5,731円 (既払分配金480円)

騰落率：△2.7% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス) (以下「リートα・

ファンド (円ヘッジクラス)」といいます。) の下落が要因となり、基準価額は下落しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことはプラスに寄与しましたが、オプション取引がマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現 地 通 貨 建 て)	公 社 債	投 資 信 託	受 益 証 券
		円	騰 落 率	(参考指数)	組 入 比		
第66期	(期首)2017年12月13日	6,393	—	17,710	—	—	98.9
	12月末	6,381	△0.2	17,749	0.2	—	98.6
	(期末)2018年 1 月15日	6,208	△2.9	17,071	△3.6	—	98.4
第67期	(期首)2018年 1 月15日	6,128	—	17,071	—	—	98.4
	1 月末	6,097	△0.5	16,998	△0.4	—	98.4
	(期末)2018年 2 月13日	5,850	△4.5	16,178	△5.2	—	98.3
第68期	(期首)2018年 2 月13日	5,770	—	16,178	—	—	98.3
	2 月末	5,772	0.0	16,210	0.2	0.0	98.5
	(期末)2018年 3 月13日	5,874	1.8	16,562	2.4	—	98.5
第69期	(期首)2018年 3 月13日	5,794	—	16,562	—	—	98.5
	3 月末	5,783	△0.2	16,615	0.3	—	99.4
	(期末)2018年 4 月13日	5,773	△0.4	16,509	△0.3	—	98.2
第70期	(期首)2018年 4 月13日	5,693	—	16,509	—	—	98.2
	4 月末	5,741	0.8	16,720	1.3	—	97.3
	(期末)2018年 5 月14日	5,861	3.0	17,388	5.3	—	98.3
第71期	(期首)2018年 5 月14日	5,781	—	17,388	—	—	98.3
	5 月末	5,784	0.1	17,524	0.8	—	96.8
	(期末)2018年 6 月13日	5,811	0.5	17,739	2.0	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.12.14~2018.6.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は小幅に上昇しました。第66期首から2018年1月にかけては、世界的な景気見通しの改善や主要各国における債券利回りの上昇などをにらみながら、一進一退の動きとなりました。2月に入ると、米国雇用統計の上振れとF R B (米国連邦準備制度理事会) による利上げ観測の高まりなどを背景に米国長期金利が上昇し、世界的に株価が急落する中、先進国リート市場も下落しました。3月に入ると、債券利回りの低下や主要リーートの好調な決算発表などを背景に、上昇基調に転じました。第71期末にかけては、イタリアの政局安定や堅調な米国経済指標などが確認され、続伸しました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、英国、日本、カナダなどが上位だった一方で、シンガポール、オランダなどが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ホテル/リゾート、貸倉庫、産業施設などが堅調だった一方で、ヘルスケアなどは低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを2017年12月および2018年3月に0.25%ポイントずつ引き上げ、1.50~1.75%としました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

世界経済は成長が続いており、マクロ経済指標も好調ですが、インフレ率は低水準にとどまっています。F R Bは今後も、年に複数回の利上げを実施していくことが見込まれています。欧州については、E C B (欧州中央銀行) は2019年まで金利を据え置くと予想しています。日本では当面、金融政策は据え置かれると予想します。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017.12.14~2018.6.13)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、堅調なファンダメンタルズおよび魅力的なバリュエーションからホテル/リゾートや産業施設をオーバーウエートとしました。国別で見ると、シンガポールやフランスをおおむねオーバーウエートで推移させ、米国や日本をおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

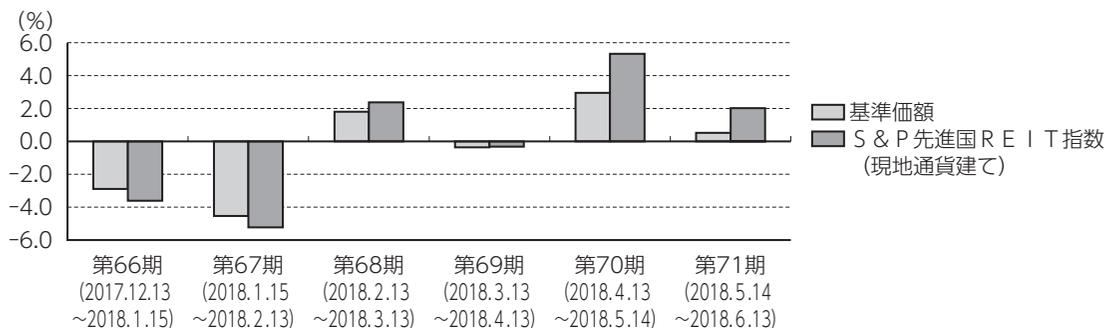
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第66期から第71期の1万口当り分配金(税込み)はそれぞれ80円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2017年12月14日 ~2018年1月15日	2018年1月16日 ~2018年2月13日	2018年2月14日 ~2018年3月13日	2018年3月14日 ~2018年4月13日	2018年4月14日 ~2018年5月14日	2018年5月15日 ~2018年6月13日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.29	1.37	1.36	1.39	1.36	1.38
当期の収益 (円)	63	56	56	64	65	76
当期の収益以外 (円)	16	23	23	15	14	3
翌期繰越分配対象額 (円)	1,367	1,343	1,319	1,303	1,289	1,287

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	63.12円	56.03円	56.35円	64.28円	65.41円	76.82円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	920.65	924.07	927.43	930.00	932.52	944.86
(d) 分配準備積立金	463.42	443.13	415.80	389.59	371.35	346.13
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,447.20	1,423.24	1,399.59	1,383.88	1,369.29	1,367.82
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,367.20	1,343.24	1,319.59	1,303.88	1,289.29	1,287.82

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

堅調な雇用状況などを背景にインフレ圧力が高まっており、主要各国の中央銀行においては緩やかな金融正常化が予想されます。ECBは、2019年に利上げに踏み切るとみられます。日銀は現状の金融政策を維持するとみています。主要各国の良好な経済成長見通しや実物不動産のファンダメンタルズは引き続き堅調である一方、リート市場に対する金利上昇の影響については注視していく必要があると考えています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2017.12.14～2018.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.662%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,918円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	39	0.665	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年12月14日から2018年6月13日まで)

決算期	第 66 期 ~ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	1,201.394	62,569	3,187.98	162,508

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年12月14日から2018年6月13日まで)

第 66 期				~	第 71 期			
買 付					売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	501.399	26,000	51		GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	3,187.98	162,508	50

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間 (第66期~第71期) 中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	8,802.618	452,850	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	399	400

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年6月13日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 452,850	% 96.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	400	0.1
コール・ローン等、その他	14,639	3.1
投資信託財産総額	467,890	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年1月15日)、(2018年2月13日)、(2018年3月13日)、(2018年4月13日)、(2018年5月14日)、(2018年6月13日)現在

項 目	第 66 期 末	第 67 期 末	第 68 期 末	第 69 期 末	第 70 期 末	第 71 期 末
(A) 資産	600,477,632円	570,092,816円	472,201,592円	461,991,747円	461,694,619円	467,890,054円
コール・ローン等	17,389,761	17,386,473	13,628,117	14,515,572	14,376,486	14,639,188
投資信託受益証券(評価額)	582,687,591	552,306,063	458,173,235	447,075,975	446,917,933	452,850,706
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	400,280	400,280	400,240	400,200	400,200	400,160
(B) 負債	8,469,720	8,418,601	6,984,608	6,933,418	6,830,258	6,958,905
未払収益分配金	7,728,969	7,787,524	6,423,776	6,394,345	6,294,786	6,434,527
未払信託報酬	736,283	622,827	549,241	524,183	517,238	502,499
その他未払費用	4,468	8,250	11,591	14,890	18,234	21,879
(C) 純資産総額(A-B)	592,007,912	561,674,215	465,216,984	455,058,329	454,864,361	460,931,149
元本	966,121,174	973,440,535	802,972,043	799,293,196	786,848,310	804,315,958
次期繰越損益金	△374,113,262	△411,766,320	△337,755,059	△344,234,867	△331,983,949	△343,384,809
(D) 受益権総口数	966,121,174□	973,440,535□	802,972,043□	799,293,196□	786,848,310□	804,315,958□
1万口当り基準価額(C/D)	6,128円	5,770円	5,794円	5,693円	5,781円	5,731円

* 第65期末における元本額は963,102,420円、当作成期間(第66期~第71期)中における追加設定元本額は57,003,775円、同解約元本額は215,790,237円です。

* 第71期末の計算口数当りの純資産額は5,731円です。

* 第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は343,384,809円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第66期 自2017年12月14日 至2018年1月15日 第69期 自2018年3月14日 至2018年4月13日
 第67期 自2018年1月16日 至2018年2月13日 第70期 自2018年4月14日 至2018年5月14日
 第68期 自2018年2月14日 至2018年3月13日 第71期 自2018年5月15日 至2018年6月13日

項 目	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
(A) 配当等収益	6,839,812円	6,081,047円	4,825,161円	5,665,756円	5,350,104円	6,685,783円
受取配当金	6,840,355	6,081,483	4,825,952	5,666,060	5,350,322	6,685,873
受取利息	—	—	—	—	2	2
支払利息	△ 543	△ 436	△ 791	△ 304	△ 220	△ 92
(B) 有価証券売買損益	△ 24,028,587	△ 32,486,480	4,054,106	△ 6,771,336	8,356,676	△ 3,757,185
売買益	2,626	1,182	5,148,642	75,839	8,392,449	19,927
売買損	△ 24,031,213	△ 32,487,662	△ 1,094,536	△ 6,847,175	△ 35,773	△ 3,777,112
(C) 信託報酬等	△ 740,751	△ 626,609	△ 552,582	△ 527,482	△ 520,668	△ 506,292
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 17,929,526	△ 27,032,042	8,326,685	△ 1,633,062	13,186,112	2,422,306
(E) 前期繰越損益	△ 266,962,243	△ 292,581,269	△ 267,899,391	△ 263,047,883	△ 265,055,400	△ 256,024,501
(F) 追加信託差損益金	△ 81,492,524	△ 84,365,485	△ 71,758,577	△ 73,159,577	△ 73,819,875	△ 83,348,087
(配当等相当額)	(88,945,952)	(89,953,265)	(74,470,787)	(74,334,400)	(73,375,402)	(75,997,075)
(売買損益相当額)	(△170,438,476)	(△174,318,750)	(△146,229,364)	(△147,493,977)	(△147,195,277)	(△159,345,162)
(G) 合計(D + E + F)	△ 366,384,293	△ 403,978,796	△ 331,331,283	△ 337,840,522	△ 325,689,163	△ 336,950,282
(H) 収益分配金	△ 7,728,969	△ 7,787,524	△ 6,423,776	△ 6,394,345	△ 6,294,786	△ 6,434,527
次期繰越損益(G+H)	△ 374,113,262	△ 411,766,320	△ 337,755,059	△ 344,234,867	△ 331,983,949	△ 343,384,809
追加信託差損益金	△ 81,492,524	△ 84,365,485	△ 71,758,577	△ 73,159,577	△ 73,819,875	△ 83,348,087
(配当等相当額)	(88,945,952)	(89,953,265)	(74,470,787)	(74,334,400)	(73,375,402)	(75,997,075)
(売買損益相当額)	(△170,438,476)	(△174,318,750)	(△146,229,364)	(△147,493,977)	(△147,195,277)	(△159,345,162)
分配準備積立金	43,142,631	40,803,714	31,489,194	29,884,042	28,072,486	27,584,792
繰越損益金	△ 335,763,369	△ 368,204,549	△ 297,485,676	△ 300,959,332	△ 286,236,560	△ 287,621,514

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,099,044円	5,454,426円	4,524,876円	5,138,255円	5,146,880円	6,179,488円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	88,945,952	89,953,265	74,470,787	74,334,400	73,375,402	75,997,075
(d) 分配準備積立金	44,772,556	43,136,812	33,388,094	31,140,132	29,220,392	27,839,831
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	139,817,552	138,544,503	112,383,757	110,612,787	107,742,674	110,016,394
(f) 分配金	7,728,969	7,787,524	6,423,776	6,394,345	6,294,786	6,434,527
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	132,088,583	130,756,979	105,959,981	104,218,442	101,447,888	103,581,867
(h) 受益権総口数	966,121,174口	973,440,535口	802,972,043口	799,293,196口	786,848,310口	804,315,958口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
1 万口当り分配金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(6,128円)	(5,770円)	(5,794円)	(5,693円)	(5,781円)	(5,731円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクトコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
42期末(2016年1月13日)	5,982	140	△ 4.1	15,057	△ 0.0	0.0	99.0	12,778
43期末(2016年2月15日)	5,500	140	△ 5.7	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	11,285
44期末(2016年3月14日)	5,992	140	11.5	15,893	10.8	0.0	99.0	12,123
45期末(2016年4月13日)	5,797	140	△ 0.9	16,434	3.4	0.0	99.0	11,402
46期末(2016年5月13日)	5,674	140	0.3	16,715	1.7	0.0	98.7	11,105
47期末(2016年6月13日)	5,505	140	△ 0.5	16,683	△ 0.2	0.0	98.8	10,613
48期末(2016年7月13日)	5,481	140	2.1	17,579	5.4	0.0	99.2	10,349
49期末(2016年8月15日)	5,232	140	△ 2.0	17,653	0.4	0.0	99.0	9,748
50期末(2016年9月13日)	4,936	140	△ 3.0	17,080	△ 3.3	0.0	98.9	9,114
51期末(2016年10月13日)	4,874	100	0.8	16,434	△ 3.8	0.0	98.6	8,862
52期末(2016年11月14日)	4,408	100	△ 7.5	15,667	△ 4.7	0.0	98.7	7,654
53期末(2016年12月13日)	4,968	100	15.0	16,519	5.4	0.0	98.1	8,496
54期末(2017年1月13日)	4,904	100	0.7	16,743	1.4	0.0	98.9	8,236
55期末(2017年2月13日)	4,914	100	2.2	16,895	0.9	0.0	98.6	8,062
56期末(2017年3月13日)	4,814	100	0.0	16,375	△ 3.1	0.0	98.4	7,740
57期末(2017年4月13日)	4,732	100	0.4	17,245	5.3	0.0	98.6	7,463
58期末(2017年5月15日)	4,800	100	3.6	16,832	△ 2.4	0.0	98.0	7,521
59期末(2017年6月13日)	4,660	100	△ 0.8	17,264	2.6	0.0	98.6	7,066
60期末(2017年7月13日)	4,570	100	0.2	16,820	△ 2.6	-	98.5	6,780
61期末(2017年8月14日)	4,412	100	△ 1.3	16,931	0.7	0.0	98.3	6,470
62期末(2017年9月13日)	4,517	100	4.6	17,345	2.4	-	98.7	6,589
63期末(2017年10月13日)	4,402	100	△ 0.3	17,423	0.4	-	98.5	6,383
64期末(2017年11月13日)	4,306	100	0.1	17,559	0.8	-	98.5	5,893
65期末(2017年12月13日)	4,262	100	1.3	17,710	0.9	-	98.6	5,413
66期末(2018年1月15日)	4,082	100	△ 1.9	17,071	△ 3.6	-	98.7	5,130
67期末(2018年2月13日)	3,702	100	△ 6.9	16,178	△ 5.2	-	98.5	4,571
68期末(2018年3月13日)	3,623	100	0.6	16,562	2.4	-	98.5	4,457
69期末(2018年4月13日)	3,521	70	△ 0.9	16,509	△ 0.3	-	98.3	4,270
70期末(2018年5月14日)	3,513	70	1.8	17,388	5.3	-	98.3	4,179
71期末(2018年6月13日)	3,414	70	△ 0.8	17,739	2.0	-	98.4	3,982

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

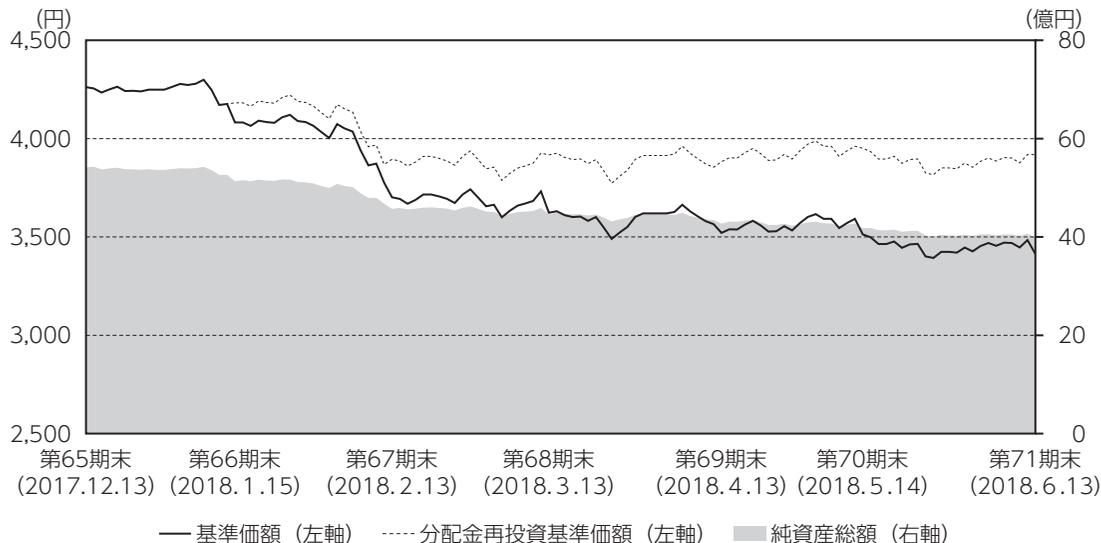
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第66期首：4,262円

第71期末：3,414円（既払分配金510円）

騰落率：△8.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）の下落が要因となり、基準価額は下落

しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、先進国リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、選定通貨が対円で下落したことやオプション取引がマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現 地 通 貨 建 て)	公 社 債	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	入 比	
第66期	(期首)2017年12月13日	円	%			
	12月末	4,262	—	17,710	—	98.6
	(期末)2018年 1 月15日	4,278	0.4	17,749	0.2	99.3
第67期	(期首)2018年 1 月15日	4,182	△1.9	17,071	△3.6	98.7
	1 月末	4,082	—	17,071	—	98.7
	(期末)2018年 2 月13日	4,003	△1.9	16,998	△0.4	99.4
第68期	(期首)2018年 2 月13日	3,802	△6.9	16,178	△5.2	98.5
	2 月末	3,702	—	16,178	—	98.5
	(期末)2018年 3 月13日	3,700	△0.1	16,210	0.2	98.5
第69期	(期首)2018年 3 月13日	3,723	0.6	16,562	2.4	98.5
	3 月末	3,623	—	16,562	—	98.5
	(期末)2018年 4 月13日	3,620	△0.1	16,615	0.3	98.6
第70期	(期首)2018年 4 月13日	3,591	△0.9	16,509	△0.3	98.3
	4 月末	3,521	—	16,509	—	98.3
	(期末)2018年 5 月14日	3,571	1.4	16,720	1.3	96.9
第71期	(期首)2018年 5 月14日	3,583	1.8	17,388	5.3	98.3
	5 月末	3,513	—	17,388	—	98.3
	(期末)2018年 6 月13日	3,446	△1.9	17,524	0.8	99.7
		3,484	△0.8	17,739	2.0	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.12.14~2018.6.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は小幅に上昇しました。第66期首から2018年1月にかけては、世界的な景気見通しの改善や主要各国における債券利回りの上昇などをにらみながら、一進一退の動きとなりました。2月に入ると、米国雇用統計の上振れとFRB（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測の高まりなどを背景に米国長期金利が上昇し、世界的に株価が急落する中、先進国リート市場も下落しました。3月に入ると、債券利回りの低下や主要リーートの好調な決算発表などを背景に、上昇基調に転じました。第71期末にかけては、イタリアの政局安定や堅調な米国経済指標などが確認され、続伸しました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、英国、日本、カナダなどが上位だった一方で、シンガポール、オランダなどが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ホテル/リゾート、貸倉庫、産業施設などが堅調だった一方で、ヘルスケアなどは低調でした。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね下落しました。第66期首から2018年1月末にかけては、それぞれの国の材料などに左右されつつ、選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。2月に入ると、米国の金利上昇などを背景に株価が急落する中、市場のリスク回避姿勢が強まり、選定通貨は対円でおおむね下落しました。4月以降も、米国金利の上昇や米ドル高を背景とした新興国からの資金流出懸念から、選定通貨は対円でおおむね下落しました。

当作成期間における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ブラジル・レアルは対円で下落しました。一方で、中国・人民元は対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当作成期間においては、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ブラジル・レアル、中国・人民元を選定通貨に組み入れました。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に、米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ0.25%ポイントの利上げが実施され、政策金利の誘導目標レンジが1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げられました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

世界経済は成長が続いており、マクロ経済指標も好調ですが、インフレ率は低水準にとどまっています。FRBは今後も、年に複数回の利上げを実施していくことが見込まれています。欧州については、ECB（欧州中央銀行）は2019年まで金利を据え置くと予想しています。日本では当面、金融政策は据え置かれると予想します。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いません。選定通貨については原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017.12.14~2018.6.13)

■当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、堅調なファンダメンタルズおよび魅力的なバリュエーションからホテル/リゾートや産業施設をオーバーウエートとしました。国別で見ると、シンガポールやフランスをおおむねオーバーウエートで推移させ、米国や日本をおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

原資産通貨売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

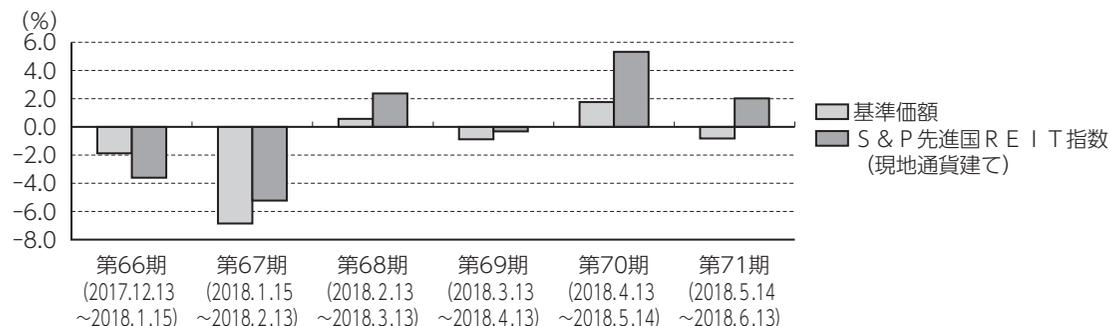
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第66期～第68期はそれぞれ100円、第69期～第71期はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2017年12月14日 ～2018年1月15日	2018年1月16日 ～2018年2月13日	2018年2月14日 ～2018年3月13日	2018年3月14日 ～2018年4月13日	2018年4月14日 ～2018年5月14日	2018年5月15日 ～2018年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	70	70	70
対基準価額比率（%）	2.39	2.63	2.69	1.95	1.95	2.01
当期の収益（円）	66	63	78	62	61	70
当期の収益以外（円）	33	36	21	7	8	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,120	3,084	3,063	3,055	3,047	3,050

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	66.19円	63.68円	78.44円	62.08円	61.89円	73.04円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,524.63	2,529.02	2,535.31	2,539.67	2,542.25	2,544.87
(d) 分配準備積立金	630.11	591.98	549.52	523.67	513.17	502.45
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,220.95	3,184.69	3,163.27	3,125.43	3,117.32	3,120.37
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,120.95	3,084.69	3,063.27	3,055.43	3,047.32	3,050.37

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

堅調な雇用状況などを背景にインフレ圧力が高まっており、主要各国の中央銀行においては緩やかな金融正常化が予想されます。ECBは、2019年に利上げに踏み切るとみられます。日銀は現状の金融政策を維持するとみています。主要各国の良好な経済成長見通しや実物不動産のファンダメンタルズは引き続き堅調である一方、リート市場に対する金利上昇の影響については注視していく必要があると考えています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2017.12.14～2018.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	25円	0.661%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は3,756円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	25	0.665	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年12月14日から2018年6月13日まで)

決算期	第 66 期 ~ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	14,017.059	548,154	26,745.583	1,046,842

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年12月14日から2018年6月13日まで)

第 66 期				~	第 71 期			
買 付					売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS (ケイマン諸島)	516.876	20,000	38		GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS (ケイマン諸島)	26,745.583	1,046,842	39

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間 (第66期~第71期) 中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	106,841.324	3,917,764	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年6月13日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,917,764	% 96.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	152,945	3.8
投資信託財産総額	4,070,810	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年1月15日)、(2018年2月13日)、(2018年3月13日)、(2018年4月13日)、(2018年5月14日)、(2018年6月13日)現在

項 目	第 66 期 末	第 67 期 末	第 68 期 末	第 69 期 末	第 70 期 末	第 71 期 末
(A) 資産	5,285,801,661円	4,720,778,814円	4,588,560,772円	4,380,237,292円	4,268,092,565円	4,070,810,443円
コール・ローン等	221,755,078	218,586,204	195,566,032	181,328,470	158,849,865	152,945,866
投資信託受益証券(評価額)	5,063,946,513	4,502,092,540	4,392,894,680	4,198,808,772	4,109,142,650	3,917,764,537
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,070	100,070	100,060	100,050	100,050	100,040
(B) 負債	155,187,725	149,579,887	130,974,416	109,338,924	89,087,546	88,503,261
未払収益分配金	125,690,982	123,484,289	123,027,695	84,909,439	83,264,881	81,650,970
未払解約金	23,003,956	20,730,411	3,212,005	19,292,294	827,570	2,213,461
未払信託報酬	6,453,449	5,293,589	4,634,820	5,005,289	4,831,354	4,444,655
その他未払費用	39,338	71,598	99,896	131,902	163,741	194,175
(C) 純資産総額(A-B)	5,130,613,936	4,571,198,927	4,457,586,356	4,270,898,368	4,179,005,019	3,982,307,182
元本	12,569,098,209	12,348,428,931	12,302,769,587	12,129,919,955	11,894,983,069	11,664,424,420
次期繰越損益金	△ 7,438,484,273	△ 7,777,230,004	△ 7,845,183,231	△ 7,859,021,587	△ 7,715,978,050	△ 7,682,117,238
(D) 受益権総口数	12,569,098,209口	12,348,428,931口	12,302,769,587口	12,129,919,955口	11,894,983,069口	11,664,424,420口
1万口当り基準価額(C/D)	4,082円	3,702円	3,623円	3,521円	3,513円	3,414円

*第65期末における元本額は12,702,792,428円、当作成期間（第66期～第71期）中における追加設定元本額は539,932,282円、同解約元本額は1,578,300,290円です。

*第71期末の計算口数当りの純資産額は3,414円です。

*第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,682,117,238円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第66期 自2017年12月14日 至2018年1月15日 第69期 自2018年3月14日 至2018年4月13日
 第67期 自2018年1月16日 至2018年2月13日 第70期 自2018年4月14日 至2018年5月14日
 第68期 自2018年2月14日 至2018年3月13日 第71期 自2018年5月15日 至2018年6月13日

項 目	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
(A) 配当等収益	89,695,158円	83,962,268円	101,171,650円	80,343,561円	78,454,629円	89,681,528円
受取配当金	89,699,296	83,966,131	101,175,807	80,347,475	78,457,258	89,682,396
受取利息	10	11	8	1	33	12
支払利息	△ 4,148	△ 3,874	△ 4,165	△ 3,915	△ 2,662	△ 880
(B) 有価証券売買損益	△ 183,713,084	△ 424,438,252	△ 70,172,233	△ 114,409,002	497,552	△ 119,242,328
売買益	1,048,087	3,028,870	1,010,604	1,842,847	1,879,866	2,750,203
売買損	△ 184,761,171	△ 427,467,122	△ 71,182,837	△ 116,251,849	△ 1,382,314	△ 121,992,531
(C) 信託報酬等	△ 6,492,787	△ 5,325,849	△ 4,663,118	△ 5,037,295	△ 4,864,278	△ 4,476,914
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 100,510,713	△ 345,801,833	26,336,299	△ 39,102,736	74,087,903	△ 34,037,714
(E) 前期繰越損益金	△ 6,954,250,389	△ 7,003,174,965	△ 7,362,470,371	△ 7,294,577,239	△ 7,238,501,778	△ 7,070,439,561
(F) 追加信託差損益金	△ 258,032,189	△ 304,768,917	△ 386,021,464	△ 440,432,173	△ 468,299,294	△ 495,988,993
(配当等相当額)	(3,173,243,627)	(3,122,951,065)	(3,119,134,961)	(3,080,605,357)	(3,024,010,882)	(2,968,450,641)
(売買損益相当額)	(△3,431,275,816)	(△3,427,719,982)	(△3,505,156,425)	(△3,521,037,530)	(△3,492,310,176)	(△3,464,439,634)
(G) 合計(D+E+F)	△ 7,312,793,291	△ 7,653,745,715	△ 7,722,155,536	△ 7,774,112,148	△ 7,632,713,169	△ 7,600,466,268
(H) 収益分配金	△ 125,690,982	△ 123,484,289	△ 123,027,695	△ 84,909,439	△ 83,264,881	△ 81,650,970
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,438,484,273	△ 7,777,230,004	△ 7,845,183,231	△ 7,859,021,587	△ 7,715,978,050	△ 7,682,117,238
追加信託差損益金	△ 258,032,189	△ 304,768,917	△ 386,021,464	△ 440,432,173	△ 468,299,294	△ 495,988,993
(配当等相当額)	(3,173,243,627)	(3,122,951,065)	(3,119,134,961)	(3,080,605,357)	(3,024,010,882)	(2,968,450,641)
(売買損益相当額)	(△3,431,275,816)	(△3,427,719,982)	(△3,505,156,425)	(△3,521,037,530)	(△3,492,310,176)	(△3,464,439,634)
分配準備積立金	749,514,260	686,161,742	649,542,637	625,607,466	600,776,844	589,638,722
繰越損益金	△ 7,929,966,344	△ 8,158,622,829	△ 8,108,704,404	△ 8,044,196,880	△ 7,848,455,600	△ 7,775,766,967

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
(a) 経費控除後の配当等収益	83,202,370円	78,636,419円	96,508,532円	75,306,264円	73,620,996円	85,204,614円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,173,243,627	3,122,951,065	3,119,134,961	3,080,605,357	3,024,010,882	2,968,450,641
(d) 分配準備積立金	792,002,872	731,009,612	676,061,800	635,210,641	610,420,729	586,085,078
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	4,048,448,869	3,932,597,096	3,891,705,293	3,791,122,262	3,708,052,607	3,639,740,333
(f) 分配金	125,690,982	123,484,289	123,027,695	84,909,439	83,264,881	81,650,970
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	3,922,757,887	3,809,112,807	3,768,677,598	3,706,212,823	3,624,787,726	3,558,089,363
(h) 受益権総口数	12,569,098,209□	12,348,428,931□	12,302,769,587□	12,129,919,955□	11,894,983,069□	11,664,424,420□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
1 万口当り分配金	100円	100円	100円	70円	70円	70円
(単 価)	(4,082円)	(3,702円)	(3,623円)	(3,521円)	(3,513円)	(3,414円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年6月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2017年2月28日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 40,654,658,005円）	22,895,525,106
デリバティブ金融商品の評価額	289,559,173
未収利息	3,781,687
資産合計	23,188,865,966
負債	
デリバティブ金融商品の評価額	47,430,394
未払報酬支払代理人報酬	3,781,687
負債合計	51,212,081
償還可能受益証券の所有者に帰属する純資産	23,137,653,885
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	5,105,401,465
円ヘッジクラス受益証券	9,946,577,046
通貨セレクトクラス受益証券	7,990,096,106
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	48,758,165
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	46,821,103
発行済受益証券：	
ノンヘッジクラス受益証券	59,464,926.99
円ヘッジクラス受益証券	164,794,186.36
通貨セレクトクラス受益証券	166,598,342.96
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	676,613.67
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	612,994.88
受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	85.856
円ヘッジクラス受益証券	60.358
通貨セレクトクラス受益証券	47.960
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	72.062
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	76.381

包括利益計算書

2017年2月28日に終了した年度

(円)

手数料収入	4,616,847,760
担保付スワップ投資による純損失	(2,133,042,973)
デリバティブ純利益	55,155,436
投資純利益	<u>2,538,960,223</u>
営業費用	136,112,245
営業費用合計	<u>136,112,245</u>
金融費用控除前営業利益	2,402,847,978
償還可能受益証券の保有者への分配金	(4,480,735,515)
分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u>(2,077,887,537)</u>

デリバティブ金融商品（為替先渡契約）

決済日	契約数	評価額 (円)
2017年3月10日	12	137,242,689
2017年3月23日	21	104,886,090
評価額		<u>242,128,779</u>

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第71期の決算日（2018年6月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月14日から2018年6月13日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
723 国庫短期証券	2018/3/5		千円 220,001				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年6月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

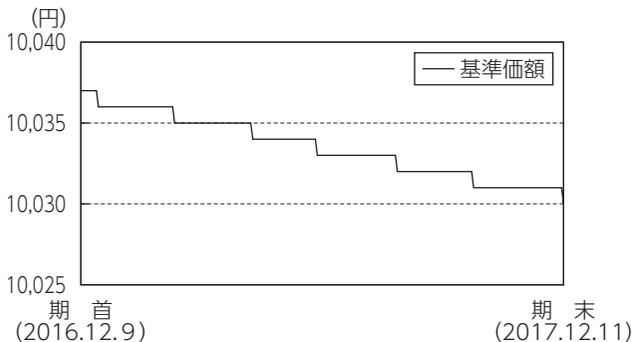
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国債証券	116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当			期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘	柄	千円	銘	柄	千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400			
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C/D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-JPX日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の福音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット垂直株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり 49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし 49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。